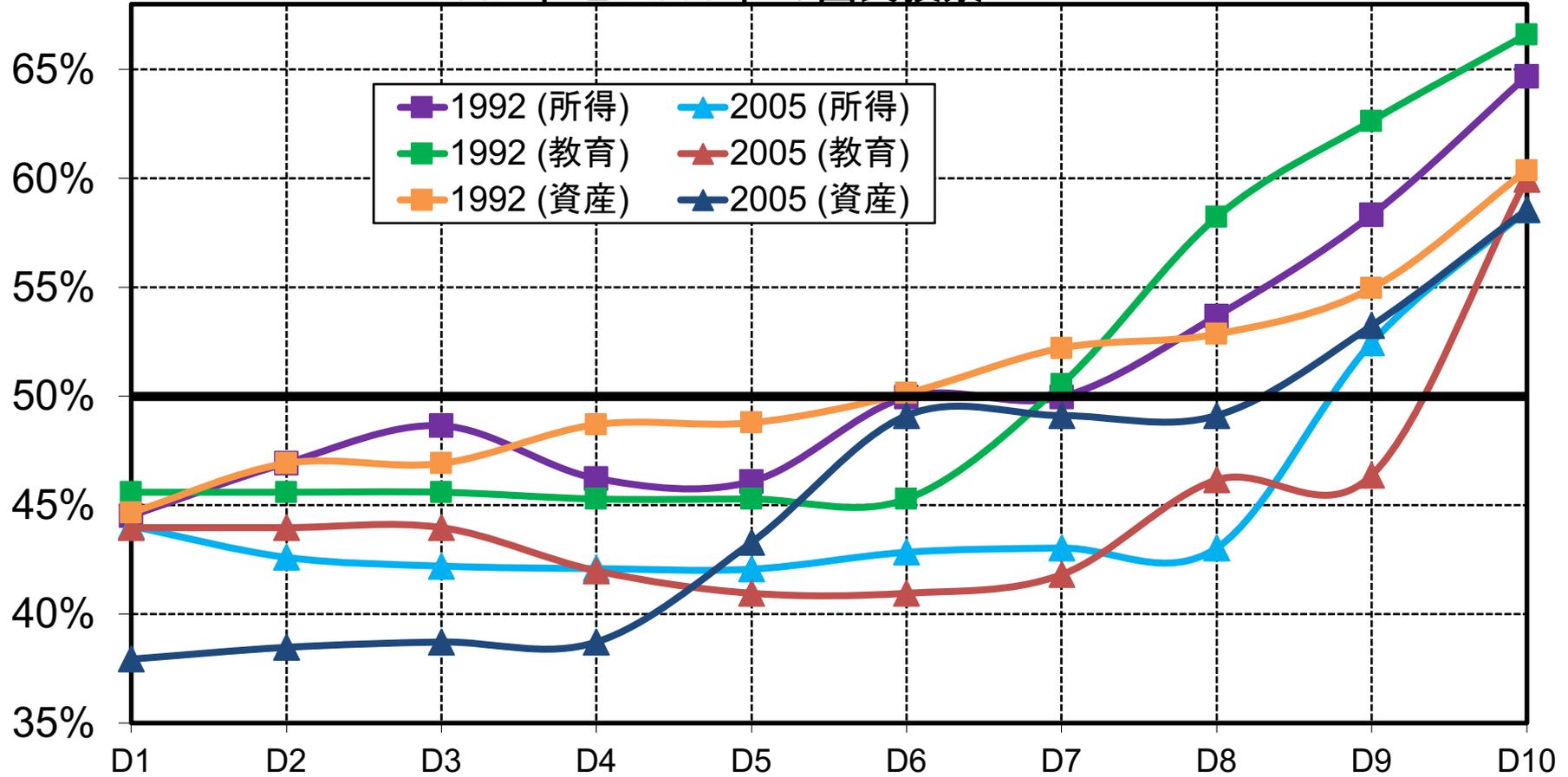


図 14-20 ヨーロッパの亀裂、フランス
1992年と2005年の国民投票

1992年と2005年に所得、教育、資産の各十分位で賛成票の比率



解釈. 1992年のマストリヒト条約をめぐる国民投票 (51%が賛成) と2005年のヨーロッパ憲法条約をめぐる国民投票 (賛成票45%で否決) では、きわめて強い社会的亀裂が見られる。所得、学位、資産のトップ数十%は賛成票を投じる率がきわめて高いが、底辺数十%は反対票を投じた。注: D1は底辺10% (所得、教育、資産のいずれの分布でも)、D2は次の10%、...D10はトップ10%。

出所と時系列データ: piketty.pse.ens.fr/ideology 参照。